

## 執筆者紹介

鈴木 健郎 本学商学部准教授  
川上 隆志 本学文学部教授  
根岸 徹郎 本学法学部教授

## 〈編集後記〉

「月報」671号をお届けする。今号は、鈴木健郎氏「日本の山岳信仰と温泉」、川上隆志氏「草津の温泉文化—湯治・ハンセン病・被差別部落」、根岸徹郎氏「日本の《発見》——西欧人／日本人による《旅行》と明治・大正期のガイドブック～ポール・クローデルの目に映った1898年と1920年代の間の日本を例として」の3論文の掲載となった。

歴史、地域、また外国から見た日本という3者それぞれの視点から、温泉地が持つ種々の機能の中でも湯治場として、すなわち「治癒」の場としての意味が対象化されていて興味深いものとなっている。

T.K

---

2019年5月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 宮 寄 晃 臣

製 作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561

---